

都市再生整備計画 事後評価シート
長野駅周辺地区

平成27年3月

長野県長野市

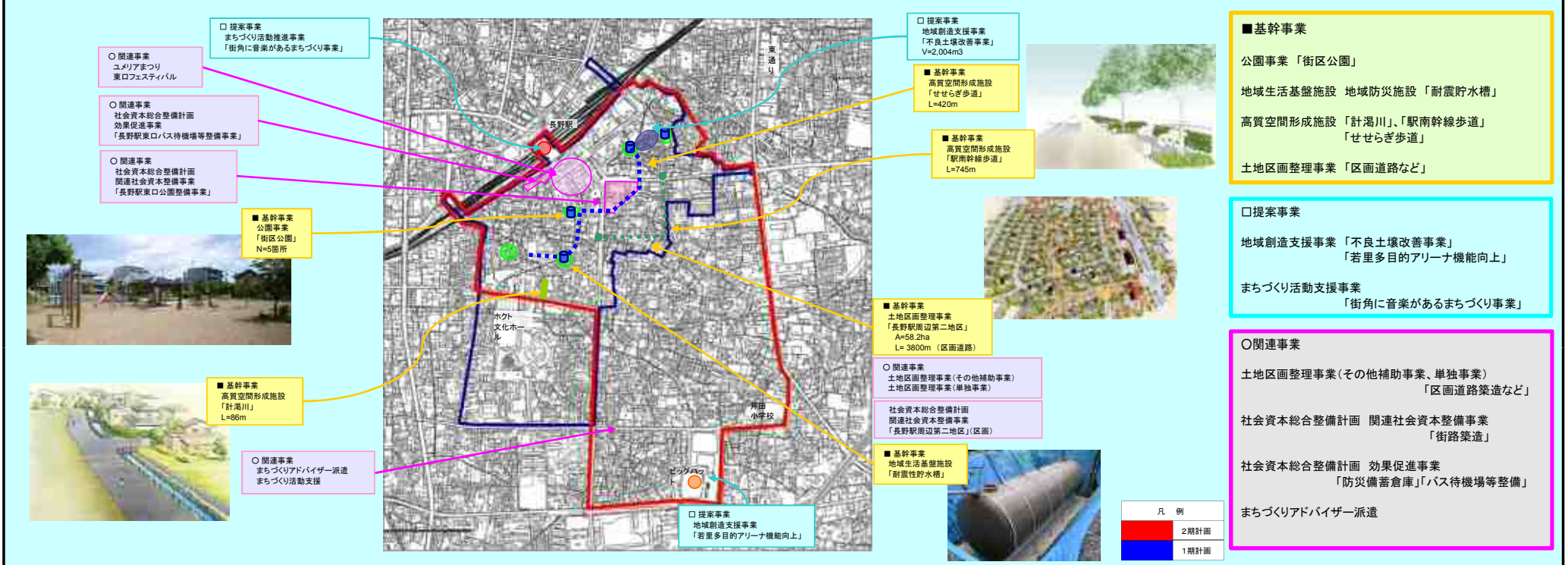
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	長野市		地区名	長野駅周辺地区			面積	151.5	
交付期間	平成23年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	3,808.5百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
			基幹事業	公園(街区公園)、地域生活基盤施設(耐震貯水槽)、高質空間形成施設(せせらぎ歩道、計湯川、駅南幹線歩道)、土地区画整理事業(長野駅周辺第二地区)								
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(不良土壌改善事業、若里多目的アリーナ機能向上)、まちづくり活動推進事業(街角に音楽があるまちづくり事業)								
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
	新たに追加した事業		基幹事業	-			-			-		
			提案事業	-			-			-		
交付期間の変更		当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	「文化活動数」、「消防活動困難区域の減少」の指標は、平成27年度に予定していた事業を実施することにより数値目標が達成する見込であったが、残事業を新規計画へ移行し平成26年度に終了するため数値目標を達成することが困難となった。						
		変更	平成23年度～平成26年度									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	土地区画整理区域内居住者数	人	2,654	H22	2,600	H27	○	ありなし	土地区画整理事業により、安全で快適な都市基盤整備や良質な住宅地が整備され、居住者人口が維持された。	平成27年8月	
	指標2	歩行者数	人/日	3,219	H22	3,200	H27	○	ありなし	安全で快適な都市基盤整備が進み、長野駅から周辺施設へのアクセスが向上したため、歩行者数の増加に繋がった。	平成27年12月	
	指標3	文化活動数	回/年	11	H21	20	H27	△	ありなし	長野駅善光寺口の改修により平成25年度から文化活動の場が使用できなくなり、目標値を達成することが困難となった。	平成28年3月	
	指標4	消防活動困難区域の減少	%	59.3	H22	39.6	H27	△	ありなし	平成27年度に予定していた耐震貯水槽設置事業が新規計画に移行となったため、目標値を達成することが困難となった。	平成28年3月	
	指標5								ありなし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	消火活動困難住宅の減少	件	175	H22					家屋の移転や街区整備の実施により、安全・安心な都市基盤整備が促進された。	平成27年4月	
	その他の数値指標2											
	その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 本計画の実施により、新しい街並みが現れ、街づくりに対する地域住民の意識が更に高まっている。 地域住民参加型のワークショップを開催し、住民と行政の協働による維持管理を考慮した街区公園等の計画が策定されている。 長野駅東口街づくり対策連絡協議会内にテーマごとの研究部会を設置し、地域住民が街づくり事業の具体化を検討し、関係機関へ提言を行っている。 本計画により、幅員の広い道路や良質な住宅地の整備が進み、狭隘道路や密集老朽木造住宅が減少し、防災機能が向上するとともに生活環境が著しく改善されている。 											
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	モニタリングを予定していたH26に本計画を完了させ新規計画へ移行することとなったため、未実施となった。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				計画期間終了後においても、モニタリングの手法を用いて定期的に継続事業の進捗状況を確認する。			
	住民参加プロセス	長野駅東口まちづくり対策連絡協議会			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				街づくり事業の具体化のため、テーマごとの研究会を設置し検討・協議をしている。 (具体的な活動は住民主体で実施し、市は後方支援を行う。)			
持続的なまちづくり体制の構築	長野駅東口まちづくり対策連絡協議会			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				より多くの住民の意見を反映させ、実施可能な街づくり事業の計画を作成する。(具体的な活動は住民主体で実施し、市は後方支援を行う。)				

様式2-2 地区の概要

長野駅周辺地区(長野県長野市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
多機能で魅力ある中心市街地の再生を図るとともに、人にやさしい個性豊かな顔となるまちづくりを目指す ① 土地区画整理事業による安全・快適な都市基盤整備と良質な住宅地の整備 ② 水と緑を活かした歩行者空間の整備による歩いて楽しめるまちづくり ③ まちづくり活動と文化活動の推進	土地区画整理区域内居住者数	単位: 人	2,654 H22	2,600 H27	2,694 H26
	歩行者数	単位: 人/日	3,219 H22	3,200 H27	3,742 H26
	文化活動数	単位: 回/年	11 H21	20 H27	16 H24
	消防活動困難区域の減少	単位: %	59.3 H22	39.6 H27	53.9 H26



■基幹事業

公園事業「街区公園」

地域生活基盤施設 地域防災施設「耐震貯水槽」

高質空間形成施設「計湯川」、「駅南幹線歩道」
「せせらぎ歩道」

土地区画整理事業「区画道路など」

□提案事業

地域創造支援事業「不良土壌改善事業」
「若里多目的アリーナ機能向上」

まちづくり活動支援事業
「街角に音楽があるまちづくり事業」

○関連事業

土地区画整理事業(その他補助事業、単独事業)
「区画道路築造など」

社会資本総合整備計画 関連社会資本整備事業
「街路築造」

社会資本総合整備計画 効果促進事業
「防災備蓄倉庫」「バス待機場等整備」

まちづくりアドバイザー派遣

まちの課題の変化

- 土地区画整理事業の仮換地指定率および建物移転率が、ともに90%を超え事業終盤を迎えている。
- 土地区画整理事業において公共施設整備率が70%を超え、狭隘道路が減少するなど、まちの快適性や安全性、さらには防災機能が大きく向上した。
- 事業終盤を迎えている土地区画整理事業地区内は、換地先の再築が進捗し住民の定住化が図られている。このことにより、地区の伝統行事などが再開されるなど、コミュニケーション活動が活発になっている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 当計画の土地区画整理事業を一日も早く完成させることにより、多機能で魅力ある中心市街の再生を図る。
- 大規模震災等に備え、防災拠点となる公園などに耐震貯水槽や防災備蓄倉庫の設置を促進する。
- 土地区画整理事業で整備した幹線道路と地区外の道路との交差点において、目違いを解消すべく交差点改良を促進する。
- 潤いある住環境、歩いて楽しめるまちづくりのために、高質な歩行者空間の創出や市民の憩いの場である公園及び広場の整備を促進する。
- 地域コミュニティを活性化させ住民自治活動の拠点となる社会教育施設の整備を促進させる。
- 住民主体のまちづくり活動を支援する。(具体的な活動は住民主体で実施し、市は後方支援を行う。)